

文部科学省 大学間連携共同教育推進事業「教員養成高度化システムモデルの構築・発信」 遠隔講義システムで単位互換科目の授業が開始される

連携大学

兵庫教育大学
神戸親和女子大学

兵庫県立大学
武庫川女子大学

神戸学院大学
神戸女子大学

大学院に教職課程をもつ上記の大学が連携し、それぞれの実績、特色、資源を生かして相互補完と協働することで、より高度な教員養成システムを実現することを目標に、この事業は、平成24年度に取り組みが開始されました。

平成26年度前期から神戸女子大学大学院では単位互換科目として以下の科目が、兵庫教育大学の学生に遠隔講義システムで提供されています。

■文学研究科 教育学専攻 前田 研史教授
科目名「臨床心理学特論Ⅰa」

■家政学研究科 生活造形学専攻 田中 陽子教授
科目名「家政教育学特論」



田中陽子教授の授業



前田研史教授の授業

「エコ+」企画展に出展「知っとこ！地球温暖化!!」

平成26年3月6日(木)から16日(日)の期間、神戸市西区見津が丘の「こうべ環境未来館」において開催された企業・大学・NPOなどによる「エコ+」企画展に、神戸女子大学家政学部 家政学科の来海 素存准教授のゼミ生が、都市部の環境保全対策の事例、地球温暖化に対応する緑化やエネルギー対策について、パネルや住宅模型を作成し出展しました。

来海研究室は住生活、建築、インテリアデザインに加え、地球温暖化による環境問題に対処する都市計画や住宅設計についても研究しています。

出展の決定後は、ゼミ生が協力して短期間(3ヶ月)で、展示の構想から内容の決定、展示パネルや住宅模型の作成を行いました。

地球温暖化の現状と国の対策、環境保全対策の事例紹介と提案、今後の環境対策の展開について紹介しました。人目を引いたのは、環境に配慮した理想の住宅模型です。ル・コルビュジエ(注)が設計したパリ郊外の別荘の図面や



「エコ+」企画展で展示されたパネルと住宅模型

写真を基に、壁面緑化、屋上緑化、太陽光パネルでエネルギー対策を考えたうえで、快適な生活空間になるように改造案を取り入れ作成しました。

学生たちは、「環境に配慮した建造物の知識が深まり、都市や住宅の緑化の方法も多種多様であった。外出時にも、どんな緑化が行われているか注意して見るようになった」「将来住宅を建てるときは、今回の活動で得た知識を生かし環境にやさしい設計にしたい」といった感想をもち、環境を考える研究を続けたいという学生もいました。

(注)ル・コルビュジエ(Le Corbusier):1887-1965年スイス生まれ、フランスで主に活躍した建築家、モダニズム建築の提唱者で東京上野の国立西洋美術館の設計者としても有名。



来海素存准教授と作成した作品とゼミ生



神戸女子大学

神戸市立須磨離宮公園

学生寮学生運営委員会 第33回こうべユース賞受賞

平成26年2月22日(土)神戸市須磨区の須磨パティオ健康館パティオホールにおいて第33回こうべユース賞(注)の表彰式が行われ、神戸女子大学の学生寮学生運営委員会が社会部門で表彰されました。

平成16年から行幸寮と天神寮の寮生は、地域自治会の清掃活動に参加してボランティア活動を開始しました。その後、平成18年度に「学生寮 かなめ自治会」が発足し、平成22年度からは「学生寮学生運営委員会」に改名。継続的に須磨区内で諸団体とともに環境保全活動や地域清掃活動に参加していることが評価されました。

平成25年2月に実施された「須磨FRSネット 自然環境サミット2013」に事例発表を行うなど、青少年が地域活動を通じて得た経験や思いを積極的に情報発信しています。



(注)こうべユース賞:神戸市青少年育成協議会と神戸市が文化・スポーツ・社会の各分野で活躍し、業績顕著及び奨励に値する活動を行った青少年を表彰するもの